

「体育」学習指導案

学校名 吹上高等学校
日 時 令和2年12月3日(木) 2限
対 象 情報処理科1年 女子9名
場 所 吹上高校体育館
授業者 宮崎 祥乃

1 単元名 球技：ネット型（バドミントン）

2 単元目標

- (1)勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるようにする。
- (2)攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。
- (3)球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人ひとりの違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保できるようにする。

3 単元設定の理由

(1)教材観

バドミントンは、1対1や2対2でネットを挟んで相手と向かい合い、ラケットを操作し、様々な打球を打ち、相手のコートにシャトルを落とすか、そして得点を重ねていくかを競うネット型の種目である。基本的なラケット操作を身に付けネット型の特徴であるラリーの楽しさを感じることができるようになりたい。

(2)生徒観

19名のクラスで選択をおこない女子生徒9名でバドミントンをおこなう。全体的には元気なクラスであるが体育に積極的ではない生徒もいるため、全員が同じように活動をしていない場面もみられるが、指示を聞き取り組む姿勢は見られる。

(3)指導観

本時は2時間目であることから選択後初めてラケットを使用しての活動になる。5名の生徒は前回の選択の際にバドミントンを選択しているが、4名の生徒は初めてバドミントンをおこなう生徒もいるため、技能に差が出ると予想される。ペアワークなどを工夫して行いバドミンの基本的なラケットの操作の仕方などを指導していきたい。

4 単元及び学習活動に即した評価規準

	関心・意欲・態度	思考・判断	運動の技能	知識・理解
単元 の 評 価 規 準	<ul style="list-style-type: none"> ・バドミントンの学習に主体的に取り組もうとしている。 ・安全に留意し仲間と協力して練習やゲームに取り組もうとしている。 ・ルールを守り、勝敗や結果を受け入れることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 練習やゲームから、自分やペアにあった課題を見つけることができる。 ・自分やペアの課題を明らかにし、その課題の解決を図ろうとしている。 ・課題の解決を目指して計画的な練習の仕方を工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分やペアの能力に適した課題の練習や各種フライトや、サービス、レシーブなどの個人的技能を高めることができる。 ・ペアと連携をとり、自分の役割を理解してポジションを取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・バドミントンの特性や各種フライトなどの合理的な練習を理解し身に付けている。 ・バドミントンのルールや審判の方法を知っている。
学 習 活 動 に 即 し た 評 価 規 準	<ul style="list-style-type: none"> ①学習に主体的に取り組もうとしている。 ②自分の役割や責任を果たし、仲間と協力し安全に留意して取り組もうとしている。 ③試合の結果を受け入れ、公正な態度をとることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①練習やゲームから自分やペアの能力に応じた課題を見つけている。 ②課題を解決するための計画的な練習をおこなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ①基本的なラケットの操作を見につけ、安定して打ち返すことができる。 ②各種フライトなど個人的技能を状況に応じて打ち分けることができる。 ③ペアや相手に応じてポジションをとり、ゲームをおこなうことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①バドミントンの特性や各種フライトを理解している。 ②バドミントンのルールを理解し正しく審判をおこなうことができる。

5 単元指導計画

時	学習活動	評価計画			
		関	思	技	知
1	オリエンテーション	①			
2～3 (本時は2)	ラケットの基本的な操作と基本的な動作 ルールの説明	①	①	①	
4～8	各種フライト・サーブの練習 クリア・ドライブ・ドロップ・ロブ・ヘアピン・サーブ	①		①	①
9～11	ラケットを操作しているときの動作・操作していないときの動作	②	②		①
12～14	コート空いているところを埋める動作		②	②	
15～16	総当たり戦の実施	③		③	②

6 本時の目標

ラケットの操作の仕方を学び，安定して打ち返せるようになる。

7 本時の展開

段階	学習内容と活動	指導内容	指導上の留意点と評価規準
導入 10分	1 準備運動，補強運動 2 挨拶，出欠確認 3 本時の説明	・ホワイトボードを使用して本時の目標を確認する。	・服装を正し，挨拶をする。
展開 35分	4 フットワークを使ってボールとり 5 ラケットの持ち方の説明 ・イースタングリップで握る 6 ラケットの操作の練習 ・ラケットを使って丸めた新聞紙を拾う 7 シャトルを打つ（一人） ・フォア・バック 8 二人で打ち合い 9 時間があればゲーム形式	・丸めた新聞紙を用意してルールを説明する。 ・ラケットの面を床と垂直にしてグリップを握手するように握らせる。 ・ルールを説明してから活動をさせる。 ・コートを縦半分に分けて打ち合いをさせる。	〈関心・意欲・態度①〉 〈思考・判断①〉 〈運動の技能①〉 ・一度手本を見せてからおこなう。 ・人にぶつからないように注意を促す。 ・人数が奇数の場合は3人組をつくらせる。
まとめ 5分	10 コートを片付ける 11 本時の振り返り 12 次回の予告 13 挨拶	・グリップの握り方の復習をする。	・協力して全員で片付けをさせる。 ・けが・体調不良の確認をおこない，手洗い・手指消毒を促す。 ・服装を正し，挨拶をする。